

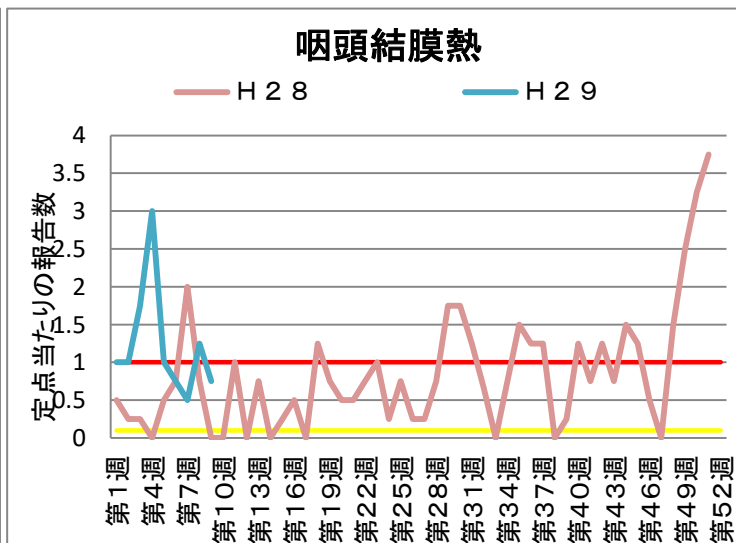
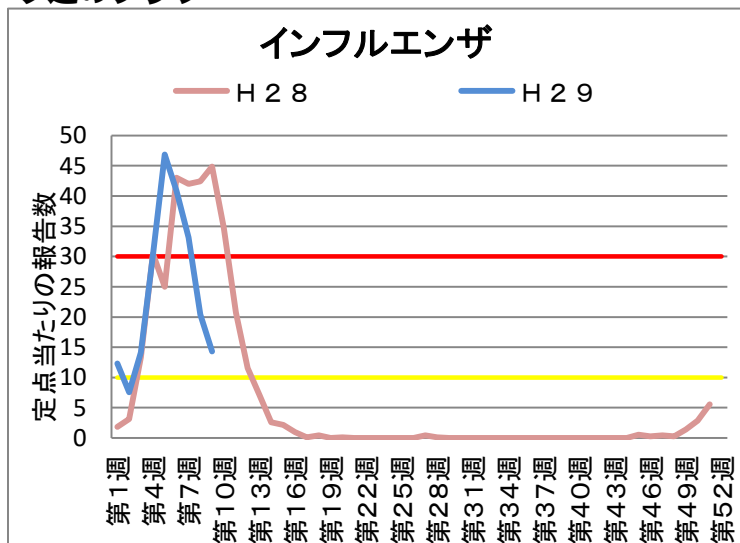
# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 9 週 平成29年2月27日 ~ 平成29年3月5日

## 今週のコメント

- 第9週(2月27日~3月5日)のインフルエンザの報告は4週連続で減少し(1定点医療機関当たり14.29)、まもなく、警報継続基準値の10を下回ることが予想されます。
- 感染症情報収集システムでは、今週(3月6日~)に入り保育所で水痘(水ぼうそう)がみられています。水痘の有効な予防策は水痘ワクチンを接種することです。水痘ワクチンの1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できます。1歳になったら早めに1回目を接種し、3か月以上の間隔をあけて、標準的には1回目接種から6~12月後に2回目を接種しましょう。
- 麻しん・風しん2種混合ワクチン(MRワクチン)の第2期接種(公費対象)は小学校就学前の1年間です。今年度まだ接種していない年長児さんは、3月末までにかかりつけ医の先生のところへうけましょう。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄色線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	14.29	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.75	突発性発しん	1.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.5	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	4	ヘルパンギーナ	-
水痘	-	流行性耳下腺炎	-

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

\* 乙訓管内 インフルエンザ定点数：7箇所、小児科定点数（インフルエンザ以外の疾病）：4箇所

## 参考資料等

報告週対応表

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

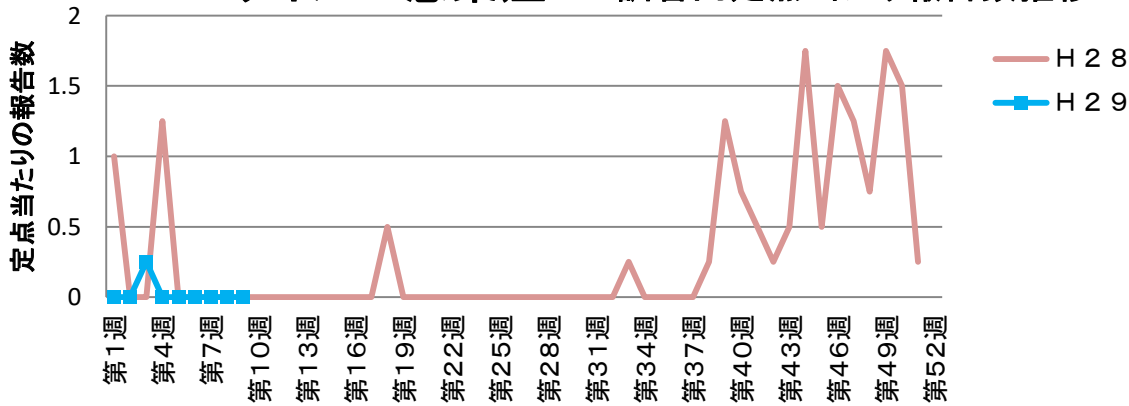
警報・注意報基準値の説明

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

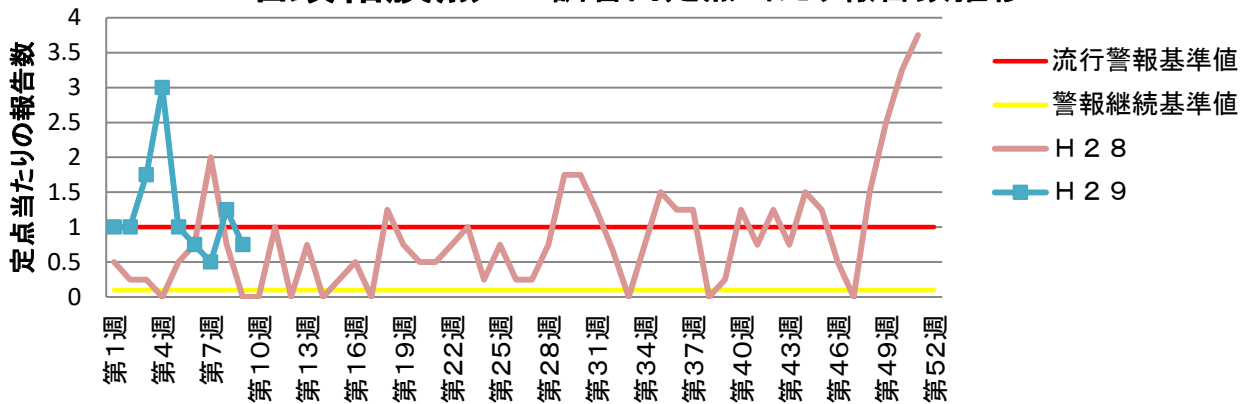
## インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



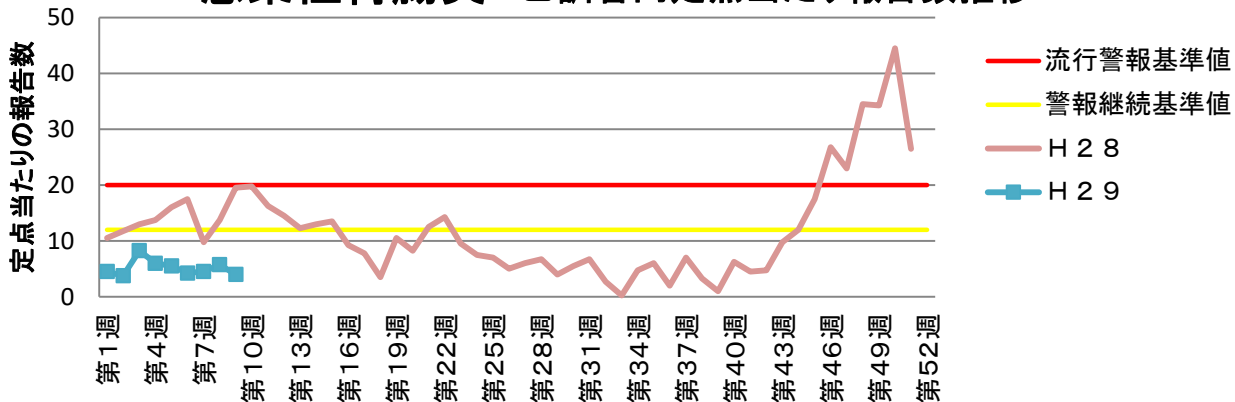
## RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



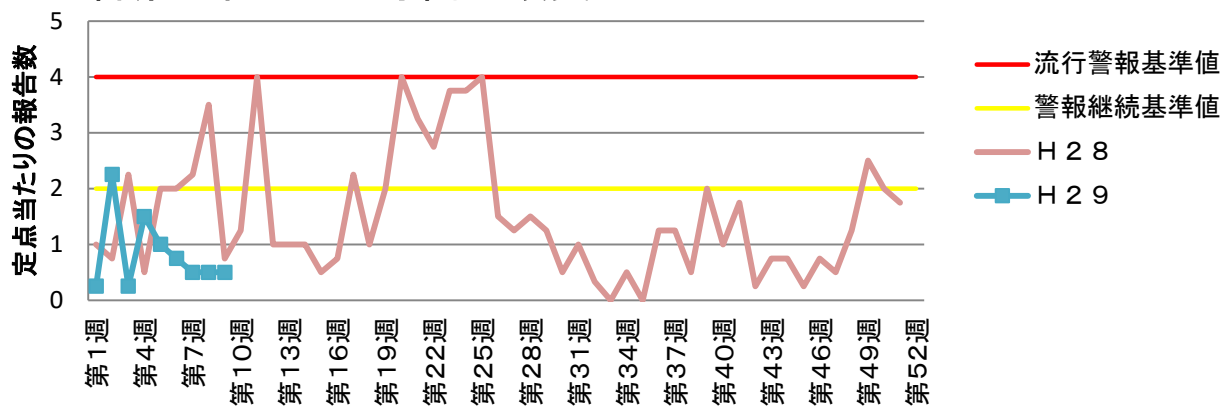
## 咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



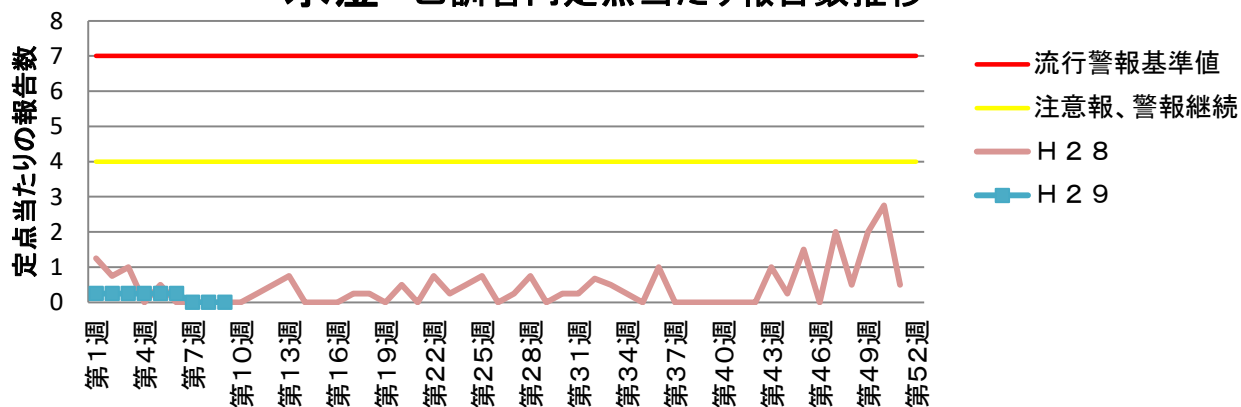
## 感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



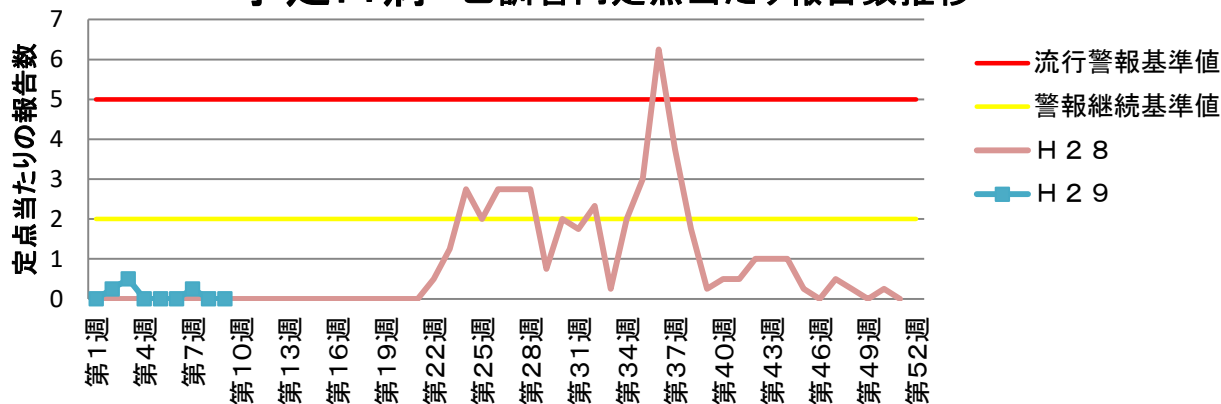
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



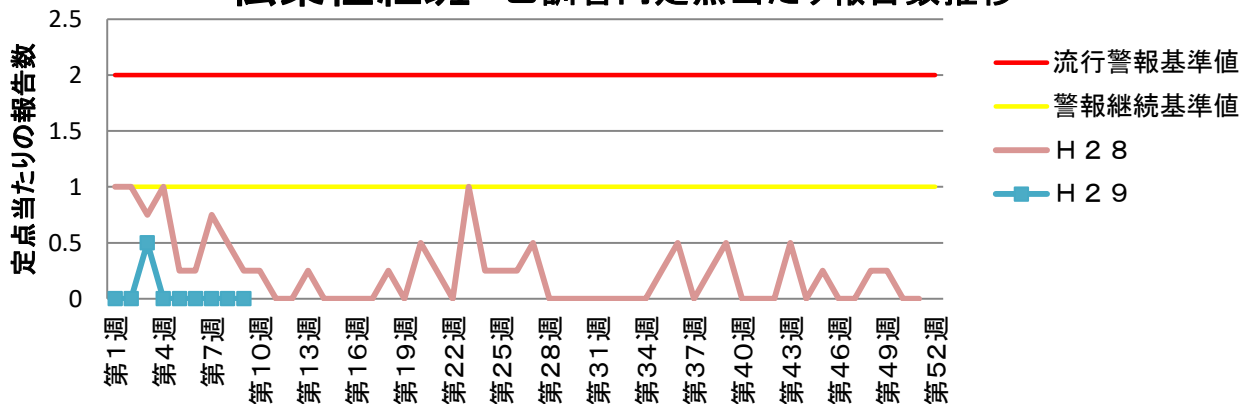
### 水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



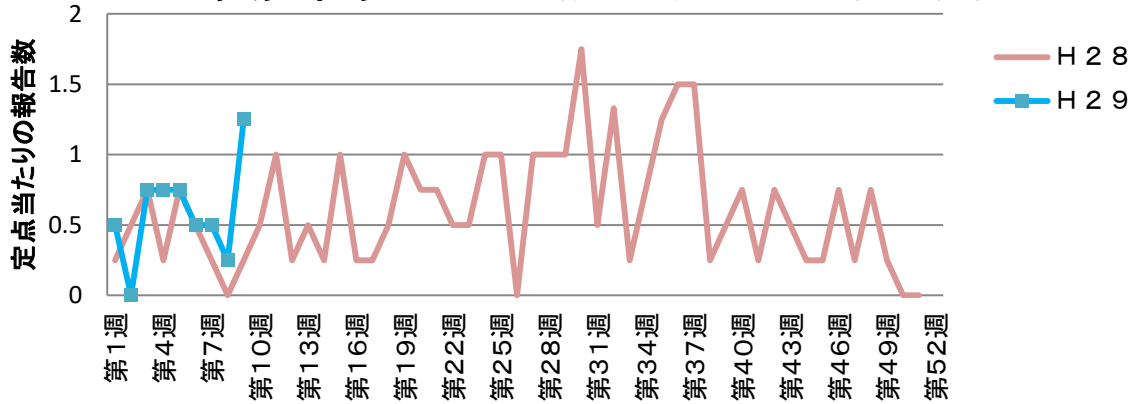
### 手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



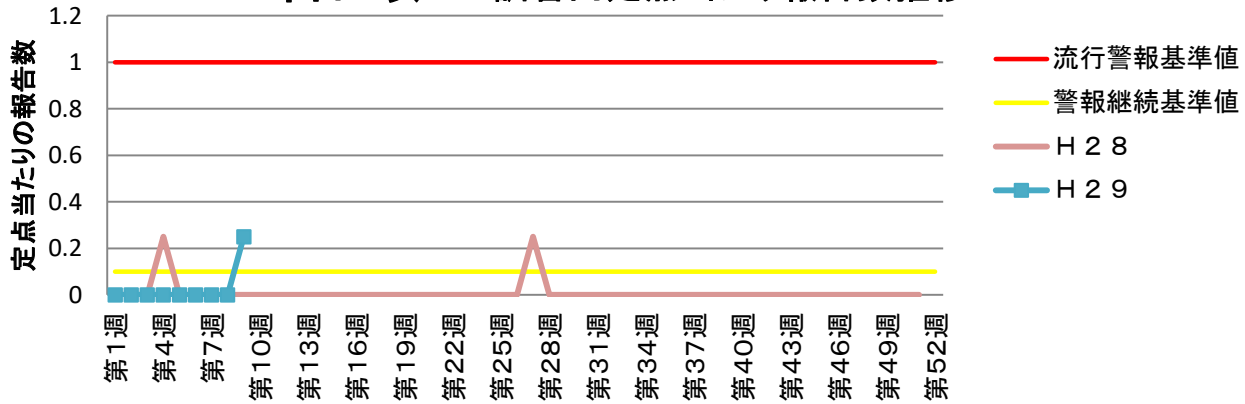
### 伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



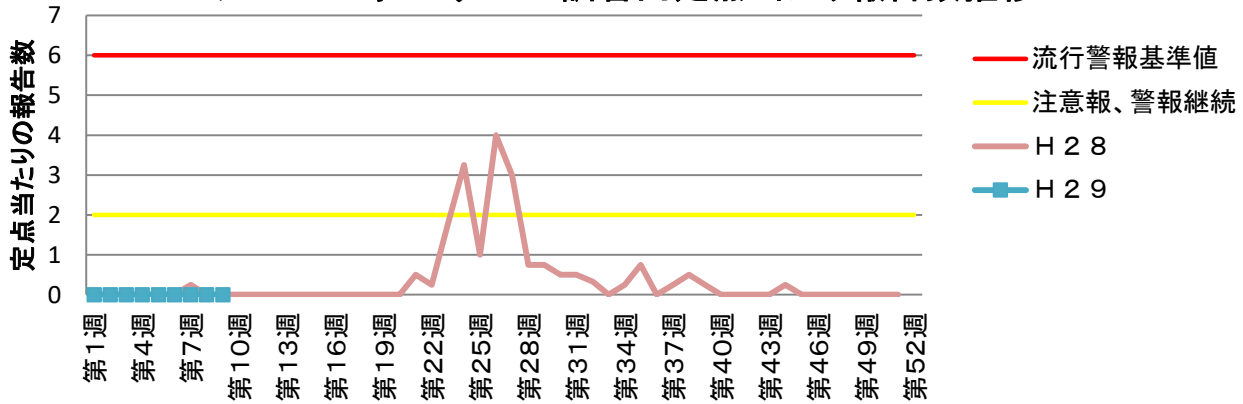
### 突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



### ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



### 流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

